協議会規約の変更案等について

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会 規約(案) 新旧対照表

現行

(目的)

第1条 斐伊川水系において、多様な主体が連携・協働し、大型水鳥類を指標とする生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現を図るための効果的方策の検討を目的として、「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(協議事項)

- 第2条 協議会の協議事項は、以下のとおりとする。
- 二 斐伊川水系における大型水鳥類の定着と安定的な生息環境の創出に関すること
- 三 斐伊川水系における大型水鳥類が舞う魅力的な地域づくりに関すること
- 四 その他、前条の目的を達成するために必要な事項

(組織等)

- 第3条 協議会の委員は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じ委員を追加することができる。
- 2 委員の任期は、委嘱のあった日から2年間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

- 第4条 協議会に会長を置く。会長は事務局の推薦によってこれを定める。
- 2 会長は協議会を代表し、協議会の円滑な運営と進行を総括する。
- 3 会長に事故がある時は、協議会に属する委員のうちから会長が予め指名した委員がその職務を代行する。

(協議会の招集)

- 第5条 協議会は、会長が招集する。
- 2 協議会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。
- 3 協議会は、必要に応じて委員以外の者の出席を要請し、意見を聞くことができる。

(専門部会)

- 第6条 協議会規約の第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、主要課題に関する専門的な検討を行う 部会を置くことができる。
- 2 部会の名称や検討事項、構成等、部会の運営上必要な事項については、別途定めるものとする。

変更案

(目的)

第1条 斐伊川水系において、多様な主体が連携・協働し、大型水鳥類を指標とする生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現を図るための効果的方策の検討を目的として、「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(協議事項)

- 第2条 協議会の協議事項は、以下のとおりとする。
- 一 斐伊川水系における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること
- 二 斐伊川水系における大型水鳥類の定着と安定的な生息環境の創出に関すること
- 三 斐伊川水系における大型水鳥類が舞う魅力的な地域づくりに関すること
- 四 その他、前条の目的を達成するために必要な事項

(組織等)

- 第3条 協議会の委員は、別表一に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じ委員を追加することができる。
- 2 委員の任期は、委嘱のあった日から2年間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

- 第4条 協議会に会長を置く。会長は事務局の推薦によってこれを定める。
- 2 会長は協議会を代表し、協議会の円滑な運営と進行を総括する。
- 3 会長に事故がある時は、協議会に属する委員のうちから会長が予め指名した委員がその職務を代行する。

(協議会の招集)

- 第5条 協議会は、会長が招集する。
- 2 協議会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。
- 3 協議会は、必要に応じて委員以外の者の出席を要請し、意見を聞くことができる。

(専門部会)

- 第6条 協議会規約の第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、主要課題に関する専門的な検討を行う 部令を置くことができる
- 2 部会の名称や検討事項、構成等、部会の運営上必要な事項については、別途定めるものとする。

(圏域部会の設置等)

- 第6条 協議会には、協議会規約の第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、地域の課題に関する検討 を行う別表二の圏域部会を置くことができる。
- 2 圏域部会は、協議会が必要と認めた場合に設置する。
- 3 圏域部会の検討事項、部会長を含む構成等、運営上必要な事項については、別途定めるものとする。
- 4 圏域部会は、検討結果を協議会に報告するものとする。

(ワーキングの設置等)

第7条 協議会規約の第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、主要課題に関する専門的な検討を行う別表二三のワーキングを置くことができる。

第7条 協議会の事務局は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に置く。

(会議の公開)

第8条 協議会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附則

この規約は、平成27年10月13日から施行する。

(改正) 平成29年3月15日から施行する。

(改正) 平成29年10月30日から施行する。

変更案

- 2 ワーキングは、協議会の会長、および圏域部会長の協議により必要と認めた場合、協議会の会長が設置するものとする。
- 3 ワーキングの開催にあたっての議事、構成等、運営上必要な事項については、開催の都度事務局が定めるものとする。
- 4 ワーキングは、検討結果を、圏域部会または協議会に報告するものとする。

第4条 協議会の事務局は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に置く。

(会議の公開)

第89条 協議会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。

(その他)

第910条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附則

この規約は、平成27年10月13日から施行する。

(改正) 平成29年3月15日から施行する。

(改正) 平成29年10月30日から施行する。

(改正) 令和●年●月●日から施行する。また、斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会生息環境づくり部会規約、および、同地域づくり部会規約は廃止する。

別表 協議会委員名簿(第3条関係)

構成	t		氏 名	団体名等	
専門家 生物	勿多様性 :	会長	涌井 史郎	東京都市大学	特別教授
	鳥類		佐藤 仁志	(公財)日本野鳥の会	副会長
	報道		舟越 幹洋	(株)山陰中央新報社	出雲総局長
	経済		古瀬 誠	(株)山陰合同銀行	特別顧問
	鳥類		呉地 正行	日本雁を保護する会	会長
関係団体			三吉 庸善	中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会	会長
			谷本 晴美	鳥取西部農業協同組合	代表理事組合長
			竹下 正幸	島根県農業協同組合	代表理事組合長
			今岡 一朗	中海·宍道湖観光協会会議	会長
			外谷 久人	中海漁業協同組合	代表理事組合長
			門脇 幹男	宍道湖漁業協同組合	代表理事組合長
			山根 成二	斐伊川漁業協同組合	代表理事組合長
			片寄 巖	神戸川漁業協同組合	代表理事組合長
			神谷 要	米子水鳥公園	館長
			岩城 良行	(公財)ホシザキグリーン財団	事務局長
			原田 孟	NPO法人いずも朱鷺21	理事長
			靑木 広幸	NPO法人国際交流フラワー21	理事長

関係行政 機関	伊木 隆司	米子市長
	中村 勝治	境港市長
	松浦 正敬	松江市長
	長岡 秀人	出雲市長
	近藤 宏樹	安来市長
	速水 雄一	雲南市長
	勝田 康則	奥出雲町長
	山碕 英樹	飯南町長
	柴田 亮	国土交通省出雲河川事務所
	鳥取県 生活環境部	
	鳥取県 農林水産部	
	鳥取県 県土整備部	
	鳥取県 西部総合事務所	
	島根県 地域振興部	
	島根県 環境生活部	
	島根県 農林水産部	
	島根県 商工労働部	
	島根県 土木部	
事務局	国土交通省(出雲河川事務所)	

オブザーバー

関係行政機関	環境省 中国四国地方環境事務所
判除行政 機関	農林水産省中国四国農政局

変更案

別表一 協議会委員名簿(第3条関係)

構成			氏 名	団体名等	
専門家	生物多様性	会長	涌井 史郎	東京都市大学	教授
	鳥類		佐藤 仁志	(公財)日本野鳥の会	副会長
	報道		舟越 幹洋	(株)山陰中央新報社	出雲総局長
	経済		古瀬 誠	(株)山陰合同銀行	特別顧問
	鳥類		呉地 正行	日本雁を保護する会	会長
関係団体			堀田 收	中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会	会長
			谷本 晴美	鳥取西部農業協同組合	代表理事組合長
			石川 寿樹	島根県農業協同組合	代表理事組合長
			松浦 正敬	中海·宍道湖観光協会会議	会長
			外谷 久人	中海漁業協同組合	代表理事組合長
			門脇 幹男	宍道湖漁業協同組合	代表理事組合長
			山根 成二	斐伊川漁業協同組合	代表理事組合長
			片寄 巖	神戸川漁業協同組合	代表理事組合長
			神谷 要	米子水鳥公園	館長
			岩城 良行	(公財)ホシザキグリーン財団	事務局長
			原田 孟	NPO法人いずも朱鷺21	理事長
			青木 広幸	NPO法人国際交流フラワー21	理事長

関係行政	四十 唯二	wz+F	
機関	伊木 隆司	米子市長	
	中村 勝治	境港市長	
	松浦 正敬	松江市長	
	長岡 秀人	出雲市長	
	近藤 宏樹	安来市長	
	速水 雄一	雲南市長	
	勝田 康則	奥出雲町長	
	山碕 英樹	飯南町長	
	大作 和弘	国土交通省出雲河川事務所	
	鳥取県 生活環境部		
	鳥取県 農林水産部		
	鳥取県 県土整備部		
	鳥取県 西部総合事務所		
	島根県 地域振興部		
	島根県 環境生活部		
	島根県 農林水産部		
	島根県 商工労働部		
	島根県 土木部		
事務局	国土交通省(出雲河川事務所)		

オブザーバー

関係行政機関	環境省 中国四国地方環境事務所 農林水産省 中国四国農政局
--------	--

	現行
L	

変更案

別表二 圏域部会の名称と検討対象区域(第6条関係)

名称	検討範囲・目的	
中海・宍道湖圏域部会	鳥取県米子市および境港市、並びに島根県松江市、出雲市および安来市を合わせ	
	た区域における課題に対する検討を行う。	
出雲·雲南圏域部会	島根県出雲市、雲南市、飯南町および奥出雲町を合わせた区域における課題に対	
	する検討を行う。	

別表二三 ワーキングの名称と目的(第7条関係)

名称	目的
水辺環境ワーキング	河川・湖沼における自然環境の保全・再生・創出に向けた検討を行う。
鳥類ワーキング	流域全体を対象として、大型水鳥類の生息環境の保全・再生・創出等に向けた 検討を行う。
農地環境ワーキング	大型水鳥類の生息環境改善に資する農業の手法や効果的な普及方法等について 検討を行う。
地域振興ワーキング	圏域の自然環境を活用した観光、広報や商品開発等の、地域振興を推進させる 方策について検討を行う。
環境学習ワーキング	大型水鳥類に象徴される地域の魅力や生態系ネットワークの意義に関する学び を、効果的に推進させる方策について検討を行う。

現行	変更案
	(名称)
	第1条 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会(以下「協議会」と
	いう。)規約第7条に基づき、「出雲・雲南圏域部会」(以下、「部会」という)を設置する。
	(定義)
	第2条 この規約における「出雲・雲南圏域」とは、島根県出雲市、雲南市、飯南町および奥出雲町を合わせた区域 をいう。
	(検討事項)
	第3条 部会は、次の事項について検討を行う。
	ー 出雲・雲南圏域における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること
	二 出雲・雲南圏域における大型水鳥類の定着と安定的な生息環境の創出に関すること
	三 出雲・雲南圏域における大型水鳥類が舞う魅力的な地域づくりに関すること
	四 出雲・雲南圏域における大型水鳥類を活用した産業の振興等に関すること
	五 その他、協議会の会長または部会長が必要と認める事項
	(構成)
	第4条 部会には、部会長1名、副部会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定める。部会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。
	2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。
	3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、委員の 任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。
	4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。
	(事效日)
	(事務局) 第5条 部会の事務局は、雲南市に置く。
	(会議の公開)
	第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。
	第0米
	(その他)
	第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
	附則 この規約は、令和○年○月○日から施行する。
	別表 出雲・雲南圏域部会委員名簿(第4条関係) (検討中)

(公園) 第1条 受別が本 金蘭本ネットワークによる大園水場変と対に全さる総数でくり格別を築作。(以下「安全」という)を設置する。 (注文) 第2条 この局所に対ける「干海・内面部運動」とは、解析原来「市場よび報酬所、並びに出版明料用、出版計画」 (注文) 第3条 部金は、次の事項について機能を行う。 一 中海・水面調理的におけるが生態を表ットワークが成の無明が認定に関すること 一 中海・水面調理的におけるが大学を対象が対象が表現が対象が成功を対象があれること ー 中海・水面調理的におけるが大学を対象が表現は関すること 三 中海・米面調理的におけるが大学を対象が表現は関すること 至 文の側、海線金の会費または影会会が必要と整める事業 (機能) 第4条 対金には、前金科とよ。前面会長しる全質さ、総合を構成である真のりもから上層によりこれを主の 会別は、影響会の会費または影会会が必要と整める事態 (機能) 第4条 対金には、前金科とよる。第一をはつれる必要と認めが場合に関係する。 2 かられ、協会の会別があるとおどの解析を使けまる。 2 かられ、協会の会別が必要となって必要をよった。利くはつれる人間を与え、 3 新会は、別名が出ているまたという。利くは、今日の必要と対することができる。 (本を対) 第5条 対金が事業のは、電かに乗りる。この場所がない。 (本を対) 第5条 対金が事業のは、電かに乗りる場合とで変異がない。 (本を対) 第5条 対金の会別は、電かに単しまたは対人情報の保護上支端があるなからとする。 (金属の外形) 第5条 対金の会別は、生物の保護上または対人情報の保護上支端があるなからとする。 (金属の外形) 第5条 対金の会別は、生物の保護上または対人情報の保護上支端があるなからとする。 (金属の外形)
(定義) 第2条 この規則に対ける「中海・大正問題域」とは、異気限率了事対と必要体事、並びに足長限的注意、出 第2条 この規則に対ける「中海・大正問題域」とは、異気限率了事対と必要体事、並びに足長限的注意、出 よび安全に対したと、次の17項について体対を行う。 一 中海・水に調道機能に対ける大型を含かったの一ク形成の効率が推進に関すること 一 中海・水に調道機能に対ける大型を表現が表現が表現が表現がの関連に関すること 二 中海・天正調機能に対ける大型を表現が表現が表現が表現が表現がの関連に関すること 二 中海・天正調機能に対ける大型を表現を表現を表現を表現を表現の報道によって上 二 中海・天正調機能に対しる大型を表現を表現を表現の報道をよって上 元 その他、協議会の表現とよりる人工を表現が表現が表現の報道をよって上 元 その他、協議会の表現となる表現によりまする。表現 会社は、該当会の表現が必要と認めたとも、出しては認定を提供を支援機会に関する。表現を 会社は、該当会の表現が必要と認めたとも、出しては認定を提供を表現的ため合語を言る。なが、 に関する機能は、認会の定果が必要と認めたとも、出しては認定を促動することができる。なが、 に関する機能は、最初に対しる実践によって加速する。ただ、必要に応じる場合を指することができる。なが、 に関する機能は、実践に対しる実践によって加速する。ただ、必要に応じる場合を指することができる。なが、 に関する機能は、実践に対しる実践によって加速する。ただ、必要に応じる機能の上、定めるものとする。 (達成的) 第1条 新会のは無限は、事業が出来を記録人情報の実像上表向がかる場合を始き、原側公園とする。 (達成の例) 第1条 新会のは無限は、事業が出来を記録人情報の実像上表向がかる場合を始き、原側公園とする。 (変の例)
(空業) 第2条 この契約における「中市・次高側電板」とは、馬鹿員本子中および助性性、並のに鼻柱馬の江木、出上び安田市を合わせた比較さいう。 (傍門等文) 第3条 彩金は、次の専用とついて除到を行う。 中市・大型制機では対する生態表ネットンーク制度の効果的推進に変すること 中・中・大型制機では対する大型水場研りが書きを変更が全し起来すること 中・市・大型制機では対する大型水場研究が必要と認める野型 ・ 中・市・大型制機では対する大型水場研究が必要と認める野型 ・ 中・市・大型制機では対する大型水場研究が必要と認める野型 ・ 神・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第2条 この表的における「中海・先近陽過域」とは、島政県来子市および境電ボ、並びに負受性物が水、自立が実施するわせた区域をいう。 (公計を) 約金は、次の事所について核学を行う。
(協計事項) (協計事項) 第3条 部金は、次の事項について総計を行う。 中等・実定制画域における大型系統の変異の機能に関すること 中等・実定制画域における大型系統の変異がと変が的な心を対くりに属すること 中等・実定制画域における大型系統の変更を対して変更の実現等に関すること で、中等・実定制画域における大型系統の設定と関する。 で、大の他、変数会の会長または存分及必要と関める事項 (構成) 第4条 新会には、報会長1名、副部会長1名を置き、新会を構成する委員のうちから可避によりこれを変め会長は、属質部会の会長を起し、必要等項といて第金の基础とが指すを成立に掛けする。 2 新会は、概定に定めてあるとおけるの場合を使する。 2 新会は、概定に選ばりる者によって制微する。たちし、必要に応じて委員を通知することができる。なか、任期は変めの日から2年時とし、同任を助すない。 4 新会は、委員の1/23人の告诉をもつじ成立する。 (学務局) 第5条 新会の事務局は、東京が定事である。 (学務局) 第5条 新会の事務局は、東京が定事であるとの必要による協議のと、定めるものとする。 (学務局) 第5条 新会の事務局は、東京が定事であると構成する委員による協議のと、定めるものとする。 (学務局)
第3条 部会は、後の事項について検討を行う。 中 時等、実足談開放におけると整条と、レリーク界成の効果物理進に関すること 三 中海、失足談開放における大型水鳥類が自分数とが高かた地域づくりに関すること 三 中海、失理談開放における大型水鳥類が自分数と認める地域づくりに関すること ① モの他、協議会の会長または副会長が必要と認める事項 (構成) 第4条 新会には、新会長1年、副師会長1年を選を、新会を構成する業員のうちから互選によりこれを定め会長を結成し、都会会に本語する。副部会長に教育研究と認めたとき、社会には一致の経過度び結果を議論会に報告する。副部会長に会長を制度し、必要年項について総会の経過度が指する。 ② 部会は、別また国行る者によって経過する。ただし、必要に定じて委員を追加することができる。なお、任期は本規の1から2年間とし、再任をおけない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって改立する。 (学務局) 第5条 部会の事務局は、無格単二条件配合を構成する委員による開放の上、達めるものとする。 (交通の公開) 第6条 部会の企業は、生物の保護上または個人情報の保護上支降がある場合を除き、原則公別とする。 (その他) 第7条 この規制に定めるもののほか、総会の適當に関して必要な事項は、報会長が変める。
中等・大道制圏域における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること 中等・天道制圏域における大型水島場が野き力を土地の土地が入りました。 田・市等・元道制圏域における大型水島場が野き力を土地が入りました。 田・神・大道制圏域における大型水島場が野き力を土地が入りました。 田・神・大道制圏域における大型水島場が野き地方がな地域とくりました。 田・神・大道制圏域における大型水島場を表した。 田舎は、協議会の会長または部会長が必要と認める事項 (構成) 第4条 部会には、部会長1条、制能会長1 名。制能会長1 名を置き、部会を構成する表員のうちから互應によりこれを定め会長を減し、必要を構成して結構を協議会に執着する。制度会長に会長者能に、協議会の会長が必要と認めたとき、者しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。 第一会は、、制金は、制金を持げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。から、任命は表現のより、表現のよりを表して成立する。 (本部局) 第5条 部会の主義局は、業事は定め、特殊まする委長による機能のより、定めるものとする。 (企業の公開) 第6条 部会の全議は、生物の保護上または個人情報の保護上支援がある場合を除き、採別公開とする。 (その他)
一つ 中海・突直期間域における大型火泉機が再う魅力的な生息環境の利出に関すること 中海・突直期間域における大型火泉機が再う魅力的な世域でくりに関すること 中海・突直期間域における大型火泉機が再り魅力的な世域では、同すること 一で では、協議会の会長または都会表が必要と認める事項 「構成) 第3条 都会には、都会長1名、副師会長1名を置き、都会を構成する委員のうちから互選によりこれを定め会長は、該当場会の会長が変更し、必要事項について都会が超過及び結果を指導会する。 到金は、総合会の会長が必要と認めたとき、者しては命会長が必要を認めた場合に開催する。 和会は、接続会の会長が必要と認めたとき、者しては命会長が必要を認めた場合に開催する。 和会は、接続会の会長が必要と認めたとき、者しては命会長が必要を認めた場合に開催する。 和会は、接続会の会長が必要と認めた。者しては命会長が必要を認めた場合に開催する。 和会は、最近の1から2年間とし、再任を妨げない。 本語のは、表員の1/2以上の出格をもって確立する。 (本語同) 第5条 部会の事務局は、 異常和「京く 部会を構成する委員による機能の上、変めるものとする。 (公認の公領) 第6条 部会の会議は、生物の保護上よたは個人情報の保護上支援がある場合を除き、原則公院とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、郭会の議官に関して必要な事項は、総会長が定める。
 一 中海・央道制圏域における大型水鳥類が舞う魅力的な地域づくりに関すること 西 中海・火道制圏域における大型水鳥類が舞う整力的な地域づくりに関すること 五 不の他、協議会の会長えたは部会長が必要と認める事項 (構成) 第 4 条 節念には、部会長1名、開節会長1名を置き、節金を構成する委員のうちから互選によりこれを定め会長を創佐し、都会長に整合する。制部会長に要ながあるときはその職務を代行する。 2 都会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは都会長が必要と認めた場合に開催する。 2 都会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは都会長が必要と認めた場合に開催する。 4 都会は、妻妻がはずるがによって起動する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なが、任何と参考ない。 4 都会は、妻員の1/26月とい、再任を参考ない。 (季務局) 第 5 条 都会の事務局は、選事は要人都会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (季務局) 第 5 条 都会の事務局は、選事は要人都会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (季務局) 第 6 条 都会の金融は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第 7 条 この規約に定めるもののほか、都会の運営に関して必要な事項は、都会長が定める。
四 中海・失道剤圏域における大型水鳥類を活用した産業の板関等に関すること 元 その他、協議会の会長または部会長が必要と認める事項 (構成) 第 4 条 部会には、部会長 1 名、副部会長 1 名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定め 会長は、該当部公の会務を総理し、必要事項について部会の番組及び結果を認識会に報告する。 ② 経会は、協議会の会長があるときはその報告といるとしまるの表もと認った。 ② 部会は、協議会の会長が必要を認めたとき、若しくは部分長が必要と認めた場合に関係する。 ③ 部会は、別妻に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、 任期は基準の日から2 年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1 / 2以上の川路をもって成立する。 (事務局) 第 5 条 部会の事務局は、要無事に置く部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (金融の公開) 第 6 条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第 7 条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
 五 その他、協議会の会長または部会長が必要と認める事項 (構成) 第4条 部会には、都会長1名、別知会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定め会長は、該当部会の会級を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長に会議を代けずる。 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に関値する。 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は委嘱の日から2年間とし、再任を助げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成づする。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、雲両田本長く都会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公問) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公問とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
(構成) 第4条 部会には、部会長1名、副部会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定め会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長に会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は表場の日から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の川席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、業事中に異く部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の金織は、年物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
第4条 部会には、部会長1名、副部会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定め会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長に会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、 業費車に関く 部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長に会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は委嘱の目から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、雲南市に置く部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、要事事に選く部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他)
3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、 雲南市に置く 部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。 (事務局) 第5条 部会の事務局は、 雲南市に置く 部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
(事務局) 第5条 部会の事務局は、雲南市に置く部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
第5条 部会の事務局は、 雲南市に置く 部会を構成する委員による協議の上、定めるものとする。 (会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
(会議の公開) 第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。 (その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
(その他) 第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
▼ の 担 始 は 「
この規約は、令和○年○月○日から施行する。 「は、日本の規約は、令和○年○月○日から施行する。」
別表 中海・宍道湖圏域部会委員名簿(第4条関係) (検討中)

(名称)

第1条 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会(以下「協議会」という。)規約第6条に基づき、「生息環境づくり部会」(以下「部会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 部会は、次の事項について検討を行う。

- 一 斐伊川水系における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること
- 二 斐伊川水系における大型水鳥類の定着と安定的な生息環境の創出に関すること
- 三、斐伊川水系自然再生計画の策定にあたり必要とされる事項
- 四 その他、協議会の会長または部会長が必要と認める事項

(構成)

- 第3条 部会には、部会長1名、副部会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定める。部会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。
- 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。
- 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、 委員の任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。
- 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。

(ワーキング)

- 第4条 部会規約第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、地域の課題に関する検討を行うワーキングを置くことができる。
- 2 ワーキングは、必要事項について経過及び結果を部会に報告する。
- 3 ワーキングの参加者は開催の都度、定めるものとする。

(事務局)

第5条 部会の事務局は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に置く。

(会議の公開)

第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。

附則

この規約は、平成29年3月15日から施行する。

(改正) 平成29年10月30日から施行する。

	変更案
(廃止)	XX.

別表:生息環境づくり部会 委員名簿

構成	氏 名	団体	名等
専門家	佐藤 仁志	(公財)日本野鳥の会	副会長
	梶川 勇樹	鳥取大学	准教授
	森 茂晃	(公財)ホシザキグリーン財団 ホシザキ野生生物研究所	所長
	林 成多	(公財)ホシザキグリーン財団 ホシザキ野生生物研究所	事業課 調査研究係長
	井上 雅仁	島根県立三瓶自然館サヒメル	課長代理
	神谷 要	米子水鳥公園	館長

関係行政機関	鳥取県
	島根県
	米子市
	境港市
	松江市
	出雲市
	安来市
	雲南市
	奥出雲町
	飯南町

変更	案
(廃止)	

(名称)

第1条 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会(以下「協議会」という。)規約第6条に基づき、「地域づくり部会」(以下「部会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 部会は、次の事項について検討を行う。

- 一 斐伊川水系における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること
- 二 斐伊川水系における大型水鳥類が舞う魅力的な地域づくりに関すること
- 四 その他、協議会の会長または部会長が必要と認める事項

(構成)

- 第3条 部会には、部会長1名、副部会長1名を置き、部会を構成する委員のうちから互選によりこれを定める。部会長は、該当部会の会務を総理し、必要事項について部会の経過及び結果を協議会に報告する。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代行する。
- 2 部会は、協議会の会長が必要と認めたとき、若しくは部会長が必要と認めた場合に開催する。
- 3 部会は、別表に掲げる者によって組織する。ただし、必要に応じて委員を追加することができる。なお、 委員の任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。
- 4 部会は、委員の1/2以上の出席をもって成立する。

(ワーキング)

- 第4条 部会規約第2条に掲げる事業を具体的に推進するために、地域の課題に関する検討を行うワーキングを置くことができる。
- 2 ワーキングは、必要事項について経過及び結果を部会に報告する。
- 3 ワーキングの参加者は開催の都度、定めるものとする。

(事務局)

第5条 部会の事務局は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に置く。

(会議の公開)

第6条 部会の会議は、生物の保護上または個人情報の保護上支障がある場合を除き、原則公開とする。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が定める。

附則

この規約は、平成29年3月15日から施行する。

(改正) 平成29年10月30日から施行する。

(廃止)	

別表:地域づくり部会 委員名簿

構成	氏 名	団体	名等
専門家	舟越 幹洋	株式会社 山陰中央新報社	出雲総局長
	田邊 達也	神門通り甦りの会	代表
	安喰 哲哉	株式会社 山陰合同銀行	地域振興部長
	奥森 隆夫	特定非営利法人 未来守りネットワーク	理事長
	松本 真悟	島根大学	教授
	河津 幸榮	農事組合法人 ファーム宇賀荘	代表理事組合長
	田渕 肇	農事組合法人ゆとりの里 下古志ファーム13	副代表理事

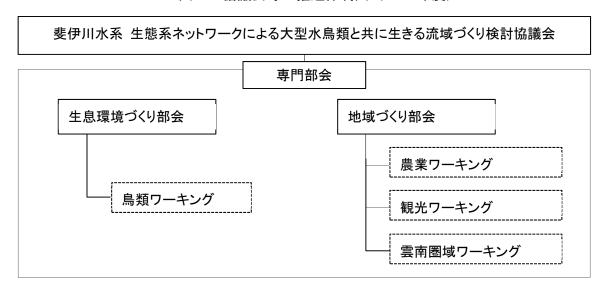
関係行政機関	鳥取県
	島根県
	米子市
	境港市
	松江市
	出雲市
	安来市
	雲南市
	奥出雲町
	飯南町

変更案	
(廃止)	

参考:推進体制再編に関する検討の経緯

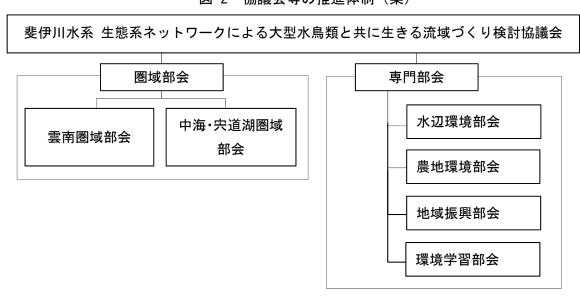
■ 2017年度の、協議会を中心とした推進体制は、図-1の通り。

図-1 協議会等の推進体制図(2017年度)



■ 第5回協議会(2018年2月28日)において、事務局より、部会等の再編案を提示した(図-2)。

図-2 協議会等の推進体制(案)



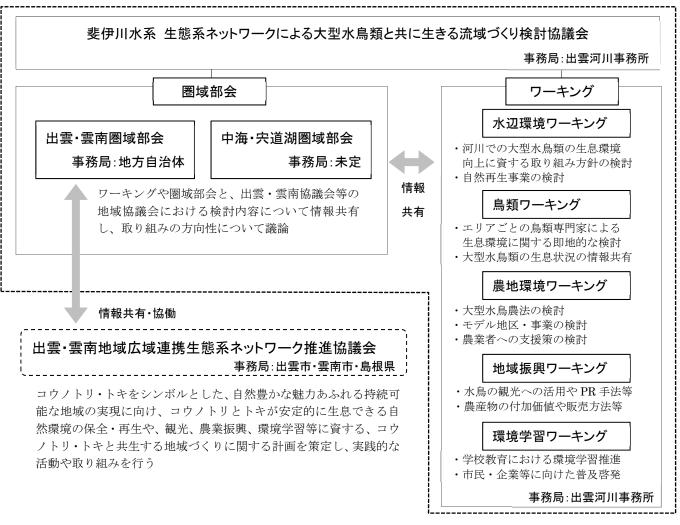
修正箇所、および理由は以下の通り。

修正箇所	理由
2つの専門部会を4つに再編。	地域づくり部会が担う検討事項が多岐に渡り(観光、農業、
生息環境づくり部会──水辺環境部会	普及広報等)一つの部会では十分な検討が行えない。
農地環境部会	
地域づくり部会 →地域振興部会	
地域 ブ (り 部 云	
協議会の下に2つの圏域部会を新設する。	検討対象区域が大きく(2県6市2町)、地域の環境や社会の
・ 雲南圏域部会 ・ 中海・宍道湖圏域部会	特性も異なることから、地域の特性にあわせた課題設定、お
	よび、課題解決に向けた方策の検討を行う場が必要。

結果:再編案について、了承を得た。(この時点では規約改訂せず)

■ 第6回協議会(2019年2月4日)において、事務局より、協議会規約の変更案とあわせ、体制の再修正案(図-3)を提示した。

図-3 協議会等の推進体制(案)



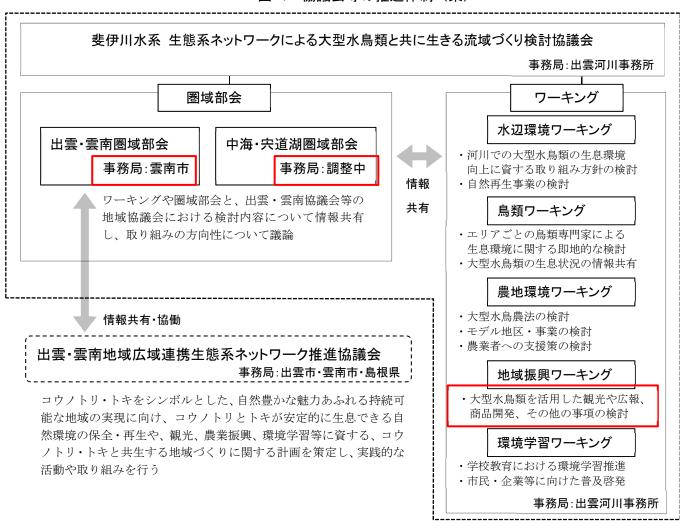
修正箇所、および理由等は以下の通り。

修正箇所	理由	
各専門部会の名称について、「部会」を「ワーキング」	第5回協議会開催後、協議会委員より「各種課題の解決に向	
とする。	け専門的な議論を行う場は、運営のしやすさを考慮すると、	
水辺環境部会→水辺環境ワーキング	構成員を課題に応じて変更できる方が望ましいのではない	
農地環境部会→農地環境ワーキング	か」とする助言を受けたため。	
地域振興部会→地域振興ワーキング		
環境学習部会→環境学習ワーキング		
これらと「鳥類ワーキング」をあわせ、協議会の下に設		
置する		
当協議会とは別に、出雲市、雲南市、島根県が事務局とする、出雲・雲南地域を中心とした生態系ネットワークの形成		
等に向けた取り組みを進める「出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会」が同年度に発足した。		
当協議会との連携を密に図っていくことが望まれることから、あわせて掲載した。		

結果:1.体制の修正案について、了承を得た。

2. 規約の変更案については、委員より複数の意見が出された。 体制の実現に向け、規約の変更案を継続して検討し、再度協議会の場に諮ることで了承を得た。 ■ 第6回協議会において提示した推進体制図より、新たに修正をかけた箇所は、以下の通り。

図-4 協議会等の推進体制(案)



修正箇所、および理由は以下の通り。

修正箇所	理由
出雲・雲南圏域部会の事務局を「雲南市」に修正	出雲・雲南圏域部会規約(案)第5条による。
地域振興ワーキングにおいて取り扱うテーマ、課題に関する記述を修正。 ・水鳥の観光への活用 や PR 手法等 ・農産物の付加価値や 販売方法等 ・機能を使用した、 た観光や広報、商品 開発、その他の事項の検討	「大型水鳥類の生息環境づくりにつながる農法で得られた農産物の付加価値や販売方法の検討」は、農地環境ワーキングの「農業者への支援策」の一つとして、同ワーキングの中で検討することが望ましいと判断したため。

